



# JACET News

大学英語教育学会

December 2006

The Japan Association of College English Teachers

No. 157

[FOREWORD]

## 2007年初頭に当たっての2つの課題

大学英語教育学会 会長 森任衛  
桜美林大学

2007年が明けましたが、会員の皆様にはよき新年をお迎えのことと拝察します。本年も役員全員が学会のさらなる発展のために力を尽くす所存です。会員のみなさまにおきましても、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、これまで会長就任の時や法人化準備のお知らせの時に、「JACET通信」以外の文書で会員のみなさんに挨拶や願いをしてきましたが、本欄のような「通信」の執筆の機会を得たのは初めてです。いろいろお伝えしたいことがあるのですが、今回は「社団法人化へのその後の推移」と「50周年記念事業の構想」の2点を取り上げたいと思います。いずれも、昨年12月の27日/28日の組織構成委員会(各支部長等で構成)で確認や大筋の合意を得たものです。

まず、学会の社団法人化の推移についてです。社団法人化への準備につきましては、昨年の6月に全会員に＜学会の社団法人化に関するお知らせとお願いなる文書を送付し、趣旨や予定を説明しました。その後、全国大会時の秋季理事会、評議員会、総会で経過報告をして、大方の了承を得てきました。6月の文書の繰り返しになりますが、社団法人化ということは、学会を現在の「任意団体」から「公益法人」にするということです。この理由を一言で述べますと「本学会を、より厳正に運営し、さらに公益に資する組織にするため」です。そのために、主務官庁の文部科学省への活動や財務の報告、外部理事の導入、会議体の明確な位置づけなどが必要になってきます。特に、総会は代議員制をとって、定足数も決めて、審議を尽くすこととなります。全体として、運営がこれまでよりも「面倒になる」のですが、その分だけ社会的な信用が高くなるといえます。

現在、申請の打ち合わせを文部科学省と行っていますが、当初から、担当部局・課をどこにするかが問題でした。本来ですと、研究振興局学術助成課が最適なのですが、ここでは申請件数が多く、最短で2年は待たなければいけないということでした。そこで、高等教育局と折衝していますが、長く担当の課が決まらずにきました。ところが、年が明けたつい最近になって、文科省から担当が大学振興課に決まったとの報告があり、いよいよ具体的な折衝をする段階になってきました。順調に進みますと、昨年6月の文書でお知らせしましたように、また、9月の総会でも説明しましたように、本年4月1日から本学会は「社団法人 大学英語教育学会」となります。なお、万一、文科省の認可が遅れましても、学会財務のさらなる厳正化な

ど社団化へのきっかけとなった運営方針は来年度から遂行していきます。

次に、学会の50周年記念事業についてです。周知のように、JACETは1962年の創立ですが、2011年に50周年を迎えます。この機会に半世紀を振り返ると同時に、向後50年を見据える事業を企画したいと思えます。2011年はあと4年後ですが、かなり大きな事業になりますので、今から準備が必要です。先般の組織構成委員会で、とりあえずの会長案として2つを出しました。これは、たまたま上記の法人化に際して文科省から求められていた将来構想事業案の提出の際に考えた案です。1つは、広く外国語教育全体を見渡した国際学会をJACETが主催で開くこと、そして、もう1つは、高等教育における英語授業学を中心とした『大学英語教育学叢書 全30巻』(仮称)のような叢書を刊行することです。

前者は、内外の同系学会からの参加招致で大同団結の大会にしたいと思っています。テーマについては、「英語教育とアイデンティティー」など、日本がアジアや世界に向けて発信するものなどの案も出ています。後者は、2009年から2011年を目処に30巻を出して、これまでのJACETの活動の集大成と今後の展望を図るものにします。付随する案として、過去の紀要論文の総括なども出ています。両者とも特別委員会が特別プロジェクトを組みます。予算は、このような大きな事業に当てるべく蓄えてきた印税やAILA99の際の寄付金の余剰による特別会計を当てます。この2つの他にもまだ案があると思えます。今後、3月末の組織構成委員会や春季理事会、そして来年度の秋の理事会で審議し、さらには総会にかけて、本格的には9月からスタートさせる予定です。会員の皆様からの意見や要望がありましたら、各支部の事務局あるいは本部事務局までお寄せください。

## 本部便り

改めまして本年もよろしくお願ひ申し上げます。  
2006年12月27日(水)28日(木)の2日にわたりJACET事務所におきまして、組織構成委員会が開催されました。

1.学会の法人化、2.50周年記念事業、3.2007年度事務局体制(総務関連を含む)、4.慶弔規定、5.ホームページの修正、6.広報通信関連、7.紀要関連、8.JACET賞関連、9.研究会関連等の項目が集中審議されました。詳細に関しましては、神保副会長・組織構成委員会委員長の報告をご覧ください。

なお、「1の学会の法人化」に関しましても、神保副会長・法人化準備委員会委員長より報告がございますのでご参照ください。また、「3.2007年度事務局体制」は、2006年度同様、「大学生協学会支援センター」に会員管理の部分は委託することが決定いたしましたことをご報告いたします。「4.慶弔規定」に関しても別に項目立てしております。「10.会長選挙」は『大学英語教育学会会則』第9条第1項により2007年4月に一般会員により選出されますが、現在その準備を行なっております。これら以外の項目はさらなる検討を3月の組織構成委員会で

重ね、その結果を公表できるようにしたいと考えております。最後になりましたが、2005年1月より約2年間事務局職員として本学会に勤務していただいた大波加孝子氏のご退職になりました。学会への貢献に対し御礼申し上げます。

代表幹事 寺内 一(高千穂大学)

## 組織構成委員会報告

主な審議内容は以下の通りであった。

### 1.事務局体制について

事務局の職務内容を規定している「JACET事務局処遇規定」は国家公務員の規定に準じているが、現状に合わなくなっている側面もあるので、総務委員会で包括的に早急に検討することとなった。

### 2.法人化について

- 1) 法人化が認可された後のスケジュールについて討議した。
- 2) 2006年9月の全国大会時の『定款』の修正を確認し、『細則』の原案を作成した。
- 3) 会員を代表して総会に出席し、審議事項を議決

する代議員の選出方法について討議した。主に、現評議員、運営委員会の委員長、副委員長、研究企画委員から選出することになった。

人数は、120-140名なので、会員27名に対して1名となる予定である。

4) 会計処理に関しては、本部会計と支部会計を明確に連動させる必要があるので、書式を統一させることとなった。

3. 中・長期計画（50周年記念事業を含む）について

社会に益することを実施していく方向で議論した。具体的には、教員養成、教材開発、ESP教育推進、E-learningなどがあげられた。

2011年のJACET50周年記念事業として全国大会を国際大会とすることと学術・実践研究書の刊行を計画する方向で検討することとなった。

4. 研究会関連事項について

1) 市販される（商業出版される）研究会の出版物の印税は、研究会と本部で折半する方向で次回春季理事会に提出することとなった。

2) 上記出版物に編著者名を表紙や奥付に記載して刊行する方向で次回春季理事会に提出することとなった。

## 法人化準備委員会報告

2006年12月13日に13回目の委員会が開催された。その時点での確認事項は以下の点である。

1. 年度内に社団法人化の内諾が得られるのであれば、3月末の春季全国理事会において、社団法人の設立総会と現任意団体の解散決議を行うことがベストと思われる。

2. その時点で、財務面においては、本部のみならず、各支部の財務諸表や貸借対照表が必要となる。

その後の展開として、文部科学省の事務手続き窓口が高等教育局の大学振興課となることが判明し

た。担当者との打ち合わせを2007年1月25日に行うこととなった。

副会長・法人化準備委員会委員長  
神保尚武（早稲田大学）

## 支部便り

### <北海道支部>

#### 1. 研究会の開催

第2回研究会

日時：11月18日(土) 14:00 15:00

場所：北海学園大

講演：授業を変える視点～51の実践事例より～

講師：佐々木智之（北海道工業大）

#### 2. 運営委員会の開催

第2回運営委員会

日時：11月18日(土) 15:00 16:00

場所：北海学園大

以下について、報告・審議を行なった。

報告：

(1) 秋季全国理事会について

(2) 報告 JACET 賞選考委員について

(3) 各種委員会

(4) 幹事報告

議題

(1) 平成19年度支部大会開催場所について

(2) 20周年記念行事について

(3) 平成18年度活動計画、決算について

(4) ニュースレター発行について

(5) 第3回研究会について

(河合 靖・北海道大)

## <東北支部>

訃報 千葉元信東北支部長のご逝去について

平成 18 年 12 月 26 日(火) 千葉元信東北支部長(宮城工業高等専門学校教授)がご逝去されました。1 月 7 日に本通夜が、8 日に告別式がしめやかに執り行われ、弔問客が別れを惜しみました。これまでの学会へのご貢献に心よりお礼を申し上げ、哀悼の意を表します。

この度は JACET 本部から香典、弔電、生花のご配慮をいただいたのみならず、北海道支部をはじめ、本学会関係の多くの方々から弔意をお寄せいただきまことにありがとうございました。

### 1. 支部役員会

12 月 9 日(土) 12:00-14:30 東北学院大学土樋キャンパス 8 号館 3 階第 3 会議室

東北支部役員会が会議室で開催された。以下の点について協議した。

- 1 2007 年度支部大会の開催について  
北海道支部との連携のあり方について検討した。  
2007 年 6 月 9 日(土) 予定。
- 2 役員人事の異動について
- 3 支部の活動活性化とそれともなう予算の使い方に関して
- 4 JACET 秋季理事会での話題について(報告)

### 2. 支部月例会

#### (1) 10 月月例会

10 月 10 日(火) 14:00-12 日(木) 18:30 秋田大学手形キャンパス(International Symposium on Language, Mind and Brain に共催として参加)  
講演 Ruth Kempson (King's College, Univ. of London) "Language, Mind and Brain"

シンポジウム Language, Mind and Brain:  
Perspectives from Dynamic Syntax and Other  
Linguistic Theories

#### (2) 12 月月例会

12 月 9 日(土) 15:00-16:50 東北学院大学 土樋キャンパス 5 号館 3 階 A V 教室  
研究発表: 宮曾根美香(東北工業大学)「ロジックを

2 1 0 3

重視したコミュニケーション能力の養成」

文法力や語彙力がある日本人でも、英語におけるコミュニケーション能力が高いとはいえ、その原因の 1 つは、彼らのメッセージがネイティブにとって論理的でないことにある。発表では、パラグラフ・リーディングを通して英語の論理展開に気づかせ、体験的なライティング活動で学習者のコミュニケーション能力を高める試みが紹介された。

講演: 野村和宏(神戸市立外国語大学)「英語スピーチ・コミュニケーションの指導 パブリック・スピーキング能力の効果的な育成をめざして」

英語によるコミュニケーションにおいて、少数の仲間との会話ではなく人前に立って行いうわゆるパブリック・スピーキングの能力はどのように学び、また指導すればよいのか。講演は、会話とスピーチの違い、スピーチの目的や形式、優れた話し手のもつ要素を理論と共に実例を用いながら分析し、さらに講師による発表の実演や参加者の実際の体験を通して、教師や学生自らがより優れたパブリック・スピーカーに成長するための手がかりを探るものであった。授業に応用できるさまざまな指導法も提案された。講演は全て英語で行なわれ、非会員からも参加者があり、好評であった。

### 3. 支部通信の発行

『JACET 東北支部通信』No. 30(北海道・東北支部合同支部大会特集号)(9 月)が発行された。

### 4. 今後の予定

支部役員会が 3 月 3 日(土)に東北工業大学の一番兆口ビーで開催される予定である。また支部通信 No. 31 が 3 月に発行される予定となっている。

(富田かおる・山形大)  
(岡崎久美子・宮城工業高専)

## <関東支部>

### 1. 支部合同会議

日時: 11 月 18 日(土) 16:00~16:30、  
12 月 16 日(土) 16:00~16:30

場所：JACET 事務所

議案：支部の委員会構成について、各委員会報告、

2007 年度関東支部大会について、2008 年度全国大会について、新研究企画委員人事等。

## 2. 支部月例研究会

(1)11 月月例研究会

日時：2006 年 11 月 18 日(土) 4:40-5:40

発表者：鈴木政浩（西武文理大学）

「授業実践事例報告のキーワードの分析と考察」

(2)12 月月例研究会

日時：2006 年 12 月 16 日(土) 4:40-5:40

発表者：石川慎一郎（神戸大学）

「言語研究における定量的視点と定性的視点：数字のその先へ」

（中尾正史・桐朋学園芸術短期大学）

### < 中部支部 >

今回は 11 月の役員会のみのご報告になります。12 月の役員会および定例研究会のご報告は次の号になりますので、悪しからずご了承お願い申し上げます。

## 1. 2006 年度支部役員会

第 5 回支部役員会

日時：11 月 18 日（土） 14:00~16:00

場所：中部大学名古屋キャンパス

報告事項：

- 1 理事会報告
- 2 2007 年度 JACET 賞推薦について
- 3 定例研究会（12 月 9 日開催）・講演会について
- 4 中部支部ホームページについて
- 5 その他（LETS 全国研究大会のお知らせ・日本 ESL 協会入会案内）

協議事項：

- 1 平成 19 年度中部支部大会について
- 2 その他（支部データ配信に関する調査・紀要編集委員会報告・国際交流委員会より・全国大会での英語による発表への要望）

## 2. 中部支部紀要

Volume.4 が 12 月 10 日に発行された。

## 3. JACET-Chubu Newsletter

No.17 が 12 月 23 日に発行された。

（村田泰美・名城大）

### < 関西支部 >

## 1. 講演会

日時：2006 年 10 月 28 日（土） 15:30 ~ 17:00

場所：ぱるるぷらざ京都 6 階会議室

講師：山田雄一郎氏（広島修道大学）

演題：「英語力をどう育てるか？学校教育の守備範囲」

## 2. 第 2 回研究企画委員会

日時：2006 年 10 月 28 日（土） 15:30 ~ 17:00

場所：ぱるるぷらざ京都 6 階会議室

議題：

1. 2006 年度研究企画委員会委員増員の件
2. 研究企画委員任期終了後の再選の件
3. 2006 年度研究企画委員の年間スケジュール
4. 研究企画委員の業務内容について
5. 2007 年度春季大会の企画について その他

## 3. 2006 年度第 2 回談話会

日時：12 月 9 日（土） 15 時 30 分 ~ 17 時

場所：大阪産業大学梅田サテライト  
（大阪駅前第 3 ビル 19 階）

講師：Terry O'Brien 氏（大阪大谷大学）

演題：For your Eyes Only

Looking at the changes in our cultures

## 4. 第 3 回運営委員会

日時：12 月 9 日（土） 12:30 ~ 15:00

場所：大阪産業大学梅田サテライト  
（大阪駅前第 3 ビル 19 階）

議題：関西支部紀要について その他

## 5. 第2回研究企画委員会

日時：12月9日（土）10:30～12:30

場所：大阪産業大学梅田サテライト

## 6. 今後の予定

### 1. 2006年度第3回談話会

日時：2007年3月4日（日）15:30～17:00

場所：関西学院大学梅田サテライト  
（ホテル阪急インターナショナル14階）

講師：未定

### 2. 2007年度春季大会（関西学院大学）

日時：2007年6月2日（土）

場所：関西学院大学上ヶ原キャンパス  
大会テーマ「外国語学習を科学する」

（奥田隆一・和歌山大学）

## <中国・四国支部>

### 第1回広島・山口・島根ブロック研究会

日時：2006年11月25日（土）

場所：広島国際学院 立町キャンパス

研究発表（13:00 - 15:00）

- 1) "teachers' and students' perceptions of communicative English language teaching and learning in Mongolian secondary schools"  
ARIUNAA Monkhor（広島大学大学院生）
- 2) 「初級レベルの大学英語学習者のための語彙リストの選定について」  
高橋俊章（山口大学）
- 3) 「女性の登場回数から見た歴代英語教科書の gender awareness」  
中村明子（広島国際大学）
- 4) 「Crosscultural pragmaticsとしてのコミュニケーション方略研究の可能性」  
岩井千秋（広島市立大学）

### 第1回岡山・鳥取ブロック研究会

日時：2006年12月9日（土）

場所：就実大・就実短大

[ 1 ] 研究発表（13:00 - 15:00）

司会：宮迫靖静（岡山南高等学校）

- 1) 「日本の中学校英語授業におけるフォニックス

2 1 0 5

（大阪駅前第3ビル19階）

議題：春季大会について その他

指導の実践」

武田千代城（愛媛県立八幡浜高等学校）

- 2) 「話しことばの英語の文法について」

田淵博文（就実大学・短大）

- 3) 「対談に用いられた表現の調査」

鳥越秀知（詫間電波工業高等専門学校）

- 4) 「日本人の英語と日本語」

西山 武久（元就実大学）

[ 2 ] 講演（15:30 - 17:00）

司会：田淵博文（就実大学・短大）

「すべてはマザーグース探しから始まった私の夢ニ研究事始め」

荒木端子（夢ニ研究家）

## 第1回四国ブロック研究会

日時：2006年12月16日（土）

場所：松山大学

ミニシンポジウム（14:00 - 16:40）

「e-learningと英語教育：実践例と今後の課題」

司会：寺嶋健史（松山大学）

パネリスト：折本素（愛媛大学）

河野極（松山工業高等学校）

池上真人（松山大学）

（鳥越秀知・詫間電波高専）

## <九州・沖縄支部>

### 1. 第3回運営委員会

日時：8月30日（水）14:00～17:00

場所：西南学院大学学術研究所

議題：(1) 秋季学術講演会及び支部総会について

(2) 来年度の支部研究大会について

（2007年7月7日久留米工業大にて開催予定）

(3) 支部紀要第11号について

(4) 来年度からの支部事務局について

（2007年4月から事務局幹事を荒木瑞夫（宮崎県立看護大）、副幹事を縄田義直（航空大学校）にお願いする）

(5) 支部長選挙

（選挙の結果、山内ひさ子（久留米工業大）が時

期支部長に選出された)

## 2. 第4回運営委員会

日時：10月14日(土) 13:00～13:50

場所：西南学院大学学術研究所

## 3. 秋季支部総会

日時：10月14日(土) 14:00～14:50

場所：西南学院大学2号館202号教室

## 4. 秋季学術講演会

日時：10月14日(土) 15:00～16:30

場所：西南学院大学2号館202号教室

発表者：久保田竜子

(Univ. of North Carolina at Chapel Hill)

発表題目：Culture in English Language Education: A critical Approach

## 5. 第62回東アジア英語教育研究会

日時：10月21日(土) 15:30～17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：岩崎千恵(九州大・院生)

発表題目：韓国の英語教育政策実施に関する研究：  
中・高等教育を中心に

## 6. 第63回東アジア英語教育研究会

日時：11月11日(土) 15:30～17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：志水俊広(九州大)

発表題目：学習者から見た韓国の英語教育：  
九大の留学生に聞く

## 7. 第11回ESP研究会

日時：11月18日(土)13:00～15:00

場所：熊本大学・大学教育機能開発総合研究  
センター(B201教室)

発表者：上村俊彦(県立長崎シーボルト大)

発表題目：WordSmithによる英文テキストデータ  
分析

## 8. 支部紀要

Annual Review of English Learning and Teaching  
第11号発行(11月30日)

## 9. 第5回運営委員会

日時：12月16日(土) 14:00～17:00

場所：西南学院大学学術研究所

議題：(1) 来年度の支部研究大会について  
(2) 支部学会会則改正について  
(3) 次年度の全国委員会委員の選出について  
(4) その他・次回の日程など

## 10. 第6回運営委員会

日時：1月13日(土) 13:00～15:00

場所：西南学院大学学術研究所

議題：(1) 来年度の支部研究大会について  
(2) 支部ニュースレターNo23の原稿依頼  
について

## 11. 第64回東アジア英語教育研究会

日時：1月13日(土) 15:30～17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：石川慎一郎(神戸大)

発表題目：日韓高等学校英語教科書に見る  
語彙統制の問題

## 12. 第3回ESP Corpus Workshop(予定)

日時：1月27日(土) 13:00～17:00

場所：宮崎大学医学部

(総合教育研究棟2F 情報処理演習室)

発表者：投野由紀夫(明海大)

発表題目：Wordsmithを利用した医学英語コーパス  
の分析

## 13. 第65回東アジア英語教育研究会(予定)

日時：2月17日(土) 15:30～17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：田村美香(名古屋学院大・院生)

発表題目：高校生が中退という決断をするとき

## 14. 第7回運営委員会(予定)

日時：3月17日(土) 13:00～

場所：西南学院大学学術研究所

## 15. 第66回東アジア英語教育研究会(予定)

日時：3月17日(土) 15:30～17:30

場所：西南学院大学1号館205号教室

発表者：島谷浩（熊本大）  
発表題目：未定

## 16. 支部ニューズレターNo. 22（4月発行予定）

（志水俊広・九州大）

### < 紀要委員会 >

#### 『JACET 紀要』の刷新に関して（予告）

『JACET 紀要』は、2007年の第44号から次のような点に関して変更しますので、会員の皆様にお知らせ申し上げます。なお、これらの点は紀要委員会で数年かけて検討し、理事会で承認を得たものであることを付け加えておきます。

#### （1） 英名を JACET BULLETIN から JACET JOURNAL に変更します。

いろいろと意見を聞いた結果、この方がよりアカデミックに響き、わが学会の紀要にふさわしいと考えました。

#### （2） 表紙を刷新します。

1970年の創刊以来B5型であったのが、1997年にA4の大判になりました。それ以来の大きな体裁の変更です。今回は表紙の色とデザインを一新します。予算的にはややアップしますが、現代的なデザインになります。ご期待ください。

#### （3） 審査員（Reviewers）のリストを前に持てきます。

これは最近、このような貢献が業績としてカウントされるようになってきていることを考慮し、また無償で審査にあたっていただいた先生方の労に報いるためです。（なお、Advisory Boardは2005年から17名に拡充されています。）

#### （4） 「執筆要項」をアップデートします。

その昔のタイプライター時代の古い規定が残っていましたので、21世紀のコンピュータ時代に対応するようアップデートします。新しい点は次のとで、次号から適用されます。

フォーマットはMicrosoft Word（2000以降）に  
2 1 0 7

指定する。（APA第5版に準拠することは変わりません。）

字体はTimes New Romanと明記する。（和文の場合の明朝体は変わらず。）

マージンは1インチ（2.5cm）、1ページ26行とする。

英文論文もabstractをつけることにする。

英・和論文ともに、キーワード（5語以内）をつけることにする。

分野分けも時代にマッチするよう拡充する。（これによって、審査員の専門とのより適確な対応が可能になります。）

以上、新しくなる『紀要』をこれまでと変わらずご愛顧いただきますよう、お願い申し上げます。

紀要委員会 担当理事 岡 秀夫  
委員長 河野 円

### < 訃報 >

東北支部長千葉元信氏（宮城工業高等専門学校教授）が昨年12月26日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

#### 編集後記

諸般の事情により、12月号が2月に発行となり、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。ここにお詫びを申し上げます。

編集：中鉢 恵一

2006年12月31日発行

発行者 大学英語教育学会（JACET）

代表者 森住衛

発行所 162-0831 東京都新宿区横寺町55

電話（03）3268-9686

FAX（03）3268-9695

E-mail: jacet@zb3.so-net.ne.jp

<http://www.jacet.org/>